

NPO 法人アレルギーを考える母の会主催

(後援：秋田県)

研修会「小児アレルギー疾患の保健指導」

(適切な理解と具体的な展開)

令和5年度 (独) 福祉医療機構社会福祉振興助成事業

近年のエビデンスの集積により、アレルギーの発症予防が一定程度可能となり、その方法が生活の身近にあることが分かってきています。国の「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」においても、市町村保健センター等で実施する両親学級や乳幼児健康診査等の母子保健事業の機会を捉えて、必要な情報を提供する保健指導を推進するよう求めています。本研修会では、保健師、栄養士、助産師など母子保健に関わる専門職に必要なアレルギー疾患の正しい理解、健診などでの具体的な保健指導の展開について学びます。

【日 時】 令和5年8月25日(金) 13:00~16:00 (12:30 開場)

【会 場】 秋田県立総合プール 2F 大会議室 (秋田市新屋町字砂奴寄 4-6)

【参加 対象】 保健師、栄養士、助産師など母子保健に関わる専門職、その他行政職員

【参加 人数】 100 人

【参加 費】 無料

【参加 申込】 ・県の電子申請システム

https://apply.e-tumo.jp/pref-akita-u/offer/offerList_detail?tempSeq=4513

・または秋田県保健・疾病対策課 福田まで FAX か E-mail で、8月10日(木) 締め切り

FAX (018-860-3821)、E-mail (hoken@pref.akita.lg.jp) **【裏面に申込書】**



【講師の紹介と研修会の主な内容】

○古川真弓先生：さいわいこどもクリニック(東京・立川市) 医師。獨協医科大学卒、国立成育医療研究センター総合診療部、東京都立小児総合医療センターアレルギー科などを経て現職。日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医。「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」(東京都)を作成、「小児のアレルギー疾患 保健指導の手引き」(厚生労働科学特別研究班)などを分担執筆した。学校や保育所、児童福祉施設等での取り組みの充実、自治体の保健センターで保健指導にも携わる。



古川真弓先生

【研修会の主な内容】「保健指導」の内容や手法を解説した冊子「母子保健事業で取り組むアレルギー疾患の発症予防・重症化予防」(監修：国立成育医療研究センター・アレルギーセンター長、大矢幸弘先生)等を教材に、同冊子を制作した古川真弓先生が講師を務め、講義、スキンケア実習、十分な時間をとった質疑を行います。

(NPO 法人アレルギーを考える母の会)

平成11年に横浜市で発足。アレルギー患者を適切な医療(標準治療)につなぎ健康回復を図る相談活動(年間約400人)を中心に、患者も賢く適切な医療を知る学習懇談会・講演会活動、相談から浮かぶ社会的な課題の解決を国や自治体、関連学会などに建設的に働きかける活動、相次ぐ災害の被災地でも活動を継続している。厚生労働省「アレルギー疾患対策推進協議会」などの委員も務める。第69回「保健文化賞」(主催：第一生命保険)などを受賞している。